



山田こうじです！

共産党、議席倍増の6議席獲得！



猛暑の中の闘いとなった参議院選挙。野党と市民が力を合わせ闘う、戦後かつてない選挙となりました。

全国32の1人区すべてで野党統一候補を実現し、11の選挙区で激戦を制して自民党候補に勝利したことは、大きな成果です。多くのところで、無党派層の6割、7割の得票を獲得し、「1+

1」が「2」ではなく、それ以上となる「共闘効果」が発揮されました。日本共産党は、比例代表選挙で、躍進した前回参議院選挙の515万票から601万票へとさらに前進し、5議席を獲得し、選挙区と合わせ改選議席の倍となる6議席を獲得しました。

京都選挙区では大河原としたか候

補は21万余票と、前回倉林票をほぼ維持し、右京区では528票増やす結果となりました。

長年、自民党を支持されてきた自治会役員さんなど保守層への支持も広がり、山ノ内での集いには「ノンストップ京都」の河本真智子さんも参加され、保守・無党派の方と一緒に選挙戦を闘うことができました。

6月29日、雨の中、三条坊町公園に20人が集まり「収支内訳書の強要辞める！抗議返還行動を激励」の強行は「弱い」が議論され、弱くした。

6月29日、雨の中、者いじめの税務行政を改め、税金はもうけに「応じた負担を」と挨拶、激励させていただきま

収支内訳書の強要辞める！ 抗議返還行動を激励



太秦安井春日町の集合住宅前の道路。側溝が凸凹で、こともややお年寄りがつまづき危険と

要望をお聞きし。西部土木へ。改修が完了しました。写真右が改修前。左が改修後。

凸凹側溝を改修しました！



まいとおおきこ

被爆71年目の原爆投下の日が目前です。7月2日（土）に行われた、市内網の目平和行進。12時40分に西京区役所を出発し、京都市役所まで、「核兵器のない平和な世界」を呼びかけ歩いてきました。

唯一の被爆国である日本政府は、アメリカの核の傘に依存し「核兵器廃絶」を願う被爆者の思いに背を向け続けています。今年4月広島で行われたG7外相会議の「広島宣言」では、核兵器廃絶の期限も道筋も示されず「核兵器の非人道性」の言葉もありませんでした。安倍内閣には被爆国日本を代表する資格はありません。

平均年齢が80歳を超えた被爆者が初めて「被爆者が訴える国際署名」が提起されました。被爆者とともに「核兵器のない平和な社会」を目指しましょう。

